

2023年度総会資料

2023年6月11日

子育て支援グループてとて広場
NPO法人 西脇てとて広場

2022年度 事業報告書

年月日	内容
2022年4月	2022年度活動の始まり
4月2日	手話教室の開催（4月、7月、2月）
4月9日	トワイライトスペース試行開始
4月14日	（公財）ひょうごコミュニティ財団 ひょうご支え合い資金助成決定
4月12日	体験活動調理実習（5月～3月 全10回）
5月3日	農業体験（5月、6月、9月、10月、11月 全6回）
5月10日	クラウドファンディング開始（～6/10目標額達成）
5月23日	スポーツ推進委員会さんによるボッチャ体験
6月8日	放課後子ども教室「SDGsクエスト」開催（全6回）
6月25日	オンライン大人の居場所開始／社会福祉協議会ハートランド取材
7月～8月	夏休み学習サポート
7月11日	（公財）コープともしびボランティア振興財団「やさしさにありがとうひょうごプロジェクト」助成決定
7月27日	（公財）大同生命厚生事業団 ビジネスパーソンボランティア活動助成
8月11日	第1回ちっちゃんてとてイベント
9月3日	第2回ちっちゃんてとてイベント「タッチングアロマ」
11月19日	2022（令和4）年度 西脇市人権教育研究大会 分科会で活動発表
11月23日	第3回ちっちゃんてとて「子育てのやさしいお話とちっちゃんヒント」
11月29日	体験活動「音楽体験」（1月、3月 全2回）
11月24日	北播磨ソーシャルトークmeet up ゲスト出演
12月	子育て世帯応援「助けあいスペシャルボックス」の配布
12月10日	第4回ちっちゃんてとてイベント「音楽パーティ」
12月24日	クリスマスパーティ
1月15日	体験活動「手作り石窯ピザ」
2月15日	体験活動「野鳥観察会」
2月23日	子どもの権利学習会開催
3月19日	大人の居場所 ピザづくり

事業概要

① 子どもの居場所

(公財) コープともしびボランティア財団やさしさにありがとうひょうごプロジェクト
(新たな挑戦を通じて共生社会の実現を目指す事業)

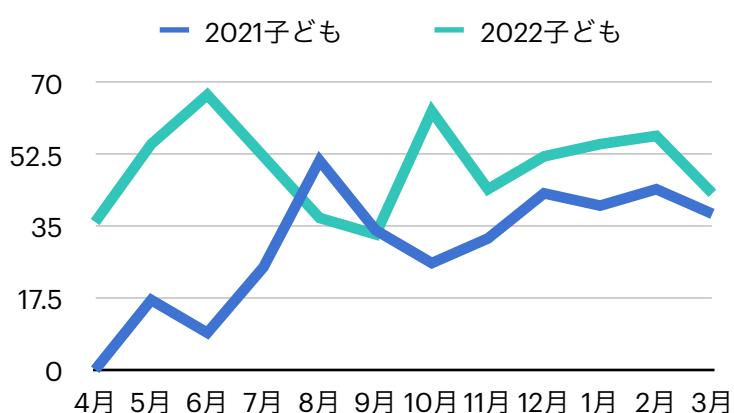
開設日：毎週火曜日・土曜日 10時～17時

対 象：0～18歳の児童とその保護者、家族等

内 容：遊んだり、学習したり、のんびり楽しく過ごす。

<利用者数> 子ども：のべ520名 大人：のべ119名

<開催日数> 94日



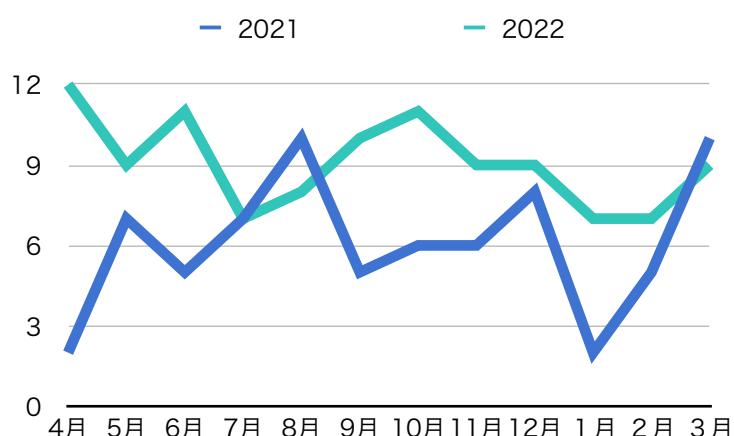
② 発達支援の広場

開設日：隨時 <相談回数> 109回

対 象：生きづらさを抱えた子どもとその家族

内 容：子どもさんの相談や良好な発達を促す遊びの教室、学習指導

<利用者数> 22名



<担当者より>

- ・子どもの発達に不安がある、園や学校でトラブルがある、家庭での子育てにおいて困っているなどの相談を受けた。生活場面や学校生活での具体的なエピソードを聞くことで子どもさんの発達や心理状態をさぐり、そこからどう対応すべきかをいっしょに考えた。中には精神的に追い詰められて不登校に至っている事例も少なくなかった。将来を心配する思いも受け止めつつ、今できることや支えてあげたいことなど具体的な提案をするように心がけた。「自分の子なのに何を考えているのかわからない」のはつらい。どんなふうに外界をとらえているのか、子ども理解が進んでくると、安心感や今後の見通しがもててくるようであった。
- ・発達支援やカウンセリングで、直接子ども（当事者）に継続的な関りを持った。コミュニケーションの課題をもつた方が多く、その人の特性に応じて求めている課題解決をはかった。。

③ 学習サポート

（公財）ひょうごコミュニティ財団 「ひょうご・みんなで支え合い基金」助成事業

開設日：毎週金曜日 17時半～21時、火曜日・土曜日随時

夏休み中 火日・土曜日 10時～15時

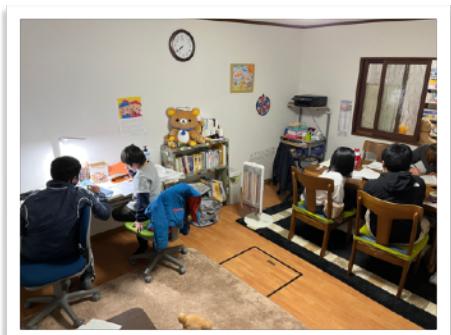
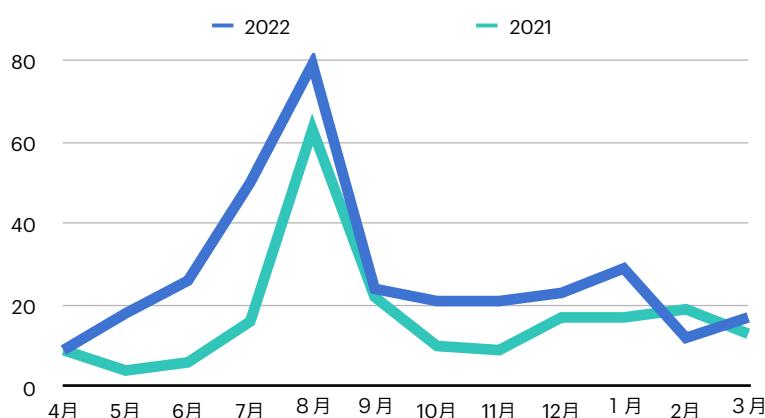
対象：小学生・中学生・高校生

内容：宿題などの学習。個別対応の学習サポート。

<利用者数> のべ329名

<開催日数> 80日

<パソコン無料レンタル> 新入学高校生1名



④ 大人の居場所

開設日：毎月1回不定期日曜日 13時～15時

対 象：18歳以上の大

内 容：生きづらさを抱えた大人の茶話会

<利用者数> のべ60名

<開催回数> 10回

★オンライン大人の居場所

開催日：6/25、9/24、11/19、1/28

<参加者数> のべ18名



⑤ パソコン講座

開設日：毎週火曜日11時～12時、18時～19時

対 象：障害をお持ちの18歳以上の方

内 容：文章作りや表計算のスキルアップ

<定期利用者> 5名

<開催回数> 46回



⑥ ちっちゃなてとて

令和4年度北播磨地域づくり活動応援事業

開設日： 8/11、9/3、11/23、12/10

対 象：子育て中の親子・家族

内 容： タッチングアロマ、コンサートなど

<利用者数> 58名



⑦ ほっこりお話し広場

開催日：4/3、6/2、12/3

対 象：生きづらさを抱えた子どもの保護者

内 容：お茶を飲みながらお話しする

<利用者数> 11名

<開催回数> 3回



⑧ 放課後こども教室

開催日：6/8、7/6、10/5、11/9、2/22

対 象：重春小学校2～6年生児童

内 容：SDGsすごろく、自然探索活動

<参加登録数>25名

⑨ 生活支援・子ども用品リサイクル

西脇市生活困窮者自立支援機能強化事業補助金
開催時期：12月中

対象：子育て中の25世帯
内容：食料品や日用品を詰めた箱を
希望者に配布



⑩ 体験活動

(公財) 大同生命厚生事業団 ビジネスパーソンボランティア助成
農業：西脇市内と多可町の畠で農作業
日ごろ：5/3、5/14、6/5、9/28、10/18、11/9
参加者数：のべ25人
指導：藤原晃さんほか



調理：みらいえ調理室で調理実習と食事
日ごろ：4/12、5/10、6/21、7/12、9/13、
10/25、11/22、12/20、1/15、2/14
参加者数：のべ43人
メニュー：カレーライス、パンづくり、ピザ、
麻婆豆腐、煮込みハンバーグ、ピラフ、唐揚げ等
指導：大西恵美さん



楽器：ギター、ドラム等の体験
日ごろ：11/29、1/24、3/21
参加者数：のべ9人
指導：福島さん、高橋さん

その他：パステルアート、エコクラフト、ダンボール工作、環境講座、
野鳥観察、アロマキャンドル、ボタニカルアート他

★子どもの権利学習会

日時：2月23日（祝・木）13時半～15時
場所：茜が丘複合施設 みらいえ 会議室
参加者数：30人
講師：吉永省三先生（千里金蘭大学名誉教授）
「子どもの権利に根ざしたまちをつくるために」



2022年度を終えて～活動の成果として

2022年度の始まりは、クラウドファンディングの相談からでした。2021年度手持ち資金で始めようとした活動に、多額の助成金をいただくことができて、居場所が過ごしやすくなるような設備を整えることができました。

次にはこの居場所を継続していくための資金が必要でした。そこで始めたクラウドファンディングで、てとてを応援してくれている皆さんの温かい気持ちに触れて、目標額を達成する資金が集まり、多くの励ましもいただき、資金だけではなかった成果に心より感謝しました。

皆さんのおかげで、この報告書の数字を見てもおわかりいただけるように、てとて広場を訪れた子どもや保護者、関係者などの総数が1年間で2,000人を超えるました。新型コロナウィルス感染症に惑わされながらも、てとてにやってきてくれた個性的な子どもたちや、孤独な大人、ボランティア精神旺盛な助っ人の皆さん、と共に、みんなが一緒に楽しめることや、誰かが好きなことだから一緒にやろうとする活動を、幅広く繰り広げていきました。そして、その中で仲間意識ができる、仲間がいる居場所だからまた来なくなる、、というような好循環を生み出してきたように思います。

「生きづらさを抱えた子どもの居場所」というコンセプトのてとて広場ですが、そもそも「生きづらさ」なんて人によって感じ方も違うのだから、「生きづらさ」があってもなくても、みんなが気持ちよく楽しく過ごせる居場所であるこそが大切なんじゃないかと、途中、気づくことになりました。一人ひとりの子どもたちを見て、全体を見て、障がいがあるとかないとか関係なく、家庭環境に差があるとかそういうことでもなく、みんな1人の人間同士で関わる様子を、人が人と遊びたいと思う様子を見てきて、そこに辿りつきました。

そんなときに、コープこうべともしびボランティア財団様の「やさしさにありがとうひょうごプロジェクト・新たな挑戦を通じて共生社会の実現を目指す事業」を見つけて、これこそてとてにぴったりだと思い、応募したところ、一次審査を通過し、二次審査のプレゼンで高評価をいただき、助成が決定しました。

朝でも昼でも夜でも、平日でも休みの日でも、いつでも使用できる居場所を維持していくことが、私たちのいちばんの大仕事であると感じています。2022度の1年間で、また新しい子どもたちと出会うことができました。多くの皆さんとつながることができました。心から感謝すると共に、今後とも、応援いただけますようよろしくお願ひ申し上げます。

子育て支援グループ てとて広場
代表 東野 由美子